

このたびの東日本大震災で被災された地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また多くの亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご家族、ご親族、関係者の皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。被災地の一日も早い復興を願っております。

虫たいじ110番

アペックス産業株式会社

電話 03-3455-6474
FAX 03-3455-6558

APEX CLUB

'11/6
第31号

アペックス産業株式会社

『APEX CLUB』

発行 2011年6月1日(通算31号)
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
ホームページ <http://www.apex-sangyo.jp>
発行人 元木 貢 (編集委員)山口力広、高塚章夫
佐々木 健
(事務局)齊藤久美

ギャラリー

東チモールの情景
写真家・其田 益成

●プロフィール 神奈川県大学卒業。写真館、広告会社写真部勤務を経て、一九九〇年に其田写真事務所を設立。商品撮影の傍ら世界各地で、民族や熱帯病を取材している。一九九一年に日本写真家協会展入選。少林寺拳法四段、八光流柔術二段。

水汲みは女性か子どもの仕事である。途中で水を売る事もあつた。島なので、真水の出る場所や量はそれほど多くない。



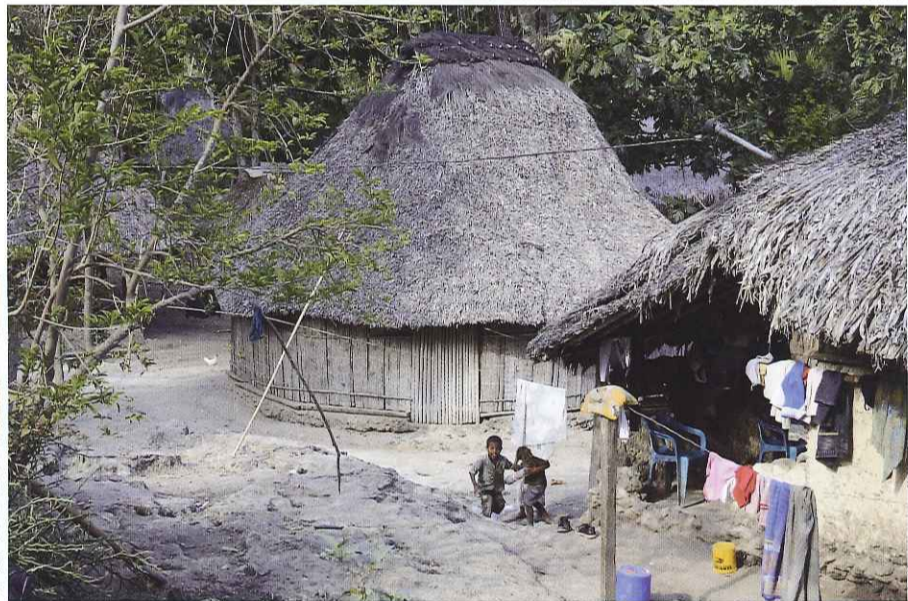
デシリ郊外の山で薪を売って生活する人の家

デシリからバウカウに向かう途中の海辺。この辺りはどこに潜ってもダイビングスポットらしい。但し、島なので潮の流れが早いところがあり、ガイドは必須である。

突端の十字架の意味は解らなかった。岬なので座礁した船のためか、それとも航行の安全を願うものか？

●作者寸言 2年前に東チモールで撮影した。国土面積は岩手県ほどと考えればよい。国連の駐留部隊もいるので治安は非常に良い。近々、地元政府に警察権移管するので観光をするのなら今である。ただ、日本からの直航便がないので不便ではあるが、不便だからこそ海はきれいでダイビングをするにはうってつけである。これが便利になると、バリ島のように段々と水が汚れてくる。その意味で不便とキレイというのは表裏の関係にある。

3月に東日本は大災害に見舞われた。写真のように東チモールはあまり豊かではないが、その分失うものも少ない。便利さに慣れると、ちょっとした事でも不便を感じるが、もともと不便だとその落差も少ない。我々は、豊かさの追求のあまり、何かを失って来なかったらどうか？



バウカウ近郊の村。付近には旧日本軍の駐留部隊が掘った洞窟がある。極めて親日的である。



デシリでポルトガル駐留(警察)部隊に少林寺拳法の指導後、訓練担当者との記念撮影

むし籠

東北大震災余波いろいろ

このたびの東北大震災は、規模が大きかっただけに速く離れた当社でもいろいろの出来事があった。
☆高層マンションで作業中だったAさん。揺れとともにガタガタ鳴る窓ガラスに恐怖を感じ、以後それがトラウマに。風で窓がガタガタするたびに、また地震かとドキドキ。それでも被災地の方々が負った心のキズの大きさに比べればこれしきと、自分を鼓舞する今日この頃です。

☆一方、四十階のビルの地下で作業中だったBさん。揺れを感じて外へ出てみると、上層階から階段で下りてきた人でごった返し、道路も渋滞やむなく仕事の継続を断念し、ビル内を走り回っていたビルの担当者を探して作業中止を伝え、他の作業員とともに帰社した途についた。ビルの地下の飲食店街もガスが止まって営業を中止していたが、一歩間違えれば引火による火災発生の大変な状況だった。店の人はさぞ怖かっただろうと同情することしきりだった。

☆震災の後、奥さんから頼まれた品物のトイレトペーパーを出張先の商店街で探し出し、ひとつお分けしましたと言われて喜んだCさん。代金を支払う段になって、それが一箱百個入りのダンボール箱ひとつと知ってビックリ。相棒と二人、大型の紙袋に入れたトイレトペーパーを

両手に抱えて帰る羽目に。みんなに羨望?のまなざしで注視され、恥ずかしいやら言い訳したいやら、さんざんな思いでの帰路となった。
☆品切れといえば、一歳の息子の紙おむつやペットボトルの水を探して右往左往したDさん。被災地でもなく、原発の避難地区でもないのにこれではと、改めてパニックに陥った人間の心理の怖さを見せ付けられた。もちろん電気のムダな消費や日頃の生活態度を反省したことは言うまでもない。



震災余波だった。

☆新潟に本社のあるS社のEさんをはじめ、三月十日、当社で開催した技術交流会に参加された三氏。翌十一日に訪ねた他のメーカーさんで地震に遭遇。ほうほうの体で当社まで戻ってこれた。当社の社員と社内夜明かし。臨時の人間交流会に参加され親交を深められた。
☆社内で一泊した帰宅困難者は全部で十三名。急遽購入した米や野菜で飢えることはなかったが、大都会の脆弱さを身を持って痛感した。
☆その反面、三十キロ以上の道のりを自宅までマラソンで帰った剛の者や、自転車通勤者にとつては、交通機関のストップもなんのその。まさに人さまさまな今回の震災余波だった。

虫めがね

震災で思うこと

三月十一日午後二時四十六分、千年に一度の大災害に私たちの世代が遭遇してしまいました。亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の皆様にお見舞い申し上げます。今回のマグニチュード9.0は日本の観測史上最大、一九〇〇年以降世界で四番目のことです。それでも関東大震災での家屋全壊十一万戸、焼失家屋四十五万戸に比べ、今回、倒壊や焼失家屋が少なかったのは、耐震構造と防蟻施工、さらには発生時間やガス器具等の防火対策の進歩もありでしょう。ただ、最大三十八メートルという津波が町を壊滅的に破壊し、同時に発生した原発事故は二十キロ圏内をゴーストタウンに変えてしまいました。計画停電、農産物・水産物の放射能汚染、生産ストップ、物資不足は首都圏から全国、全世界に及ぶ未曾有の大災害となり、大自然の前ではいかに人間が無力かをつくづく思い知らされました。一方、被災者の方々の生命力、団結心、被災地への支援の輪など、人間の強さ、やさしさに感動した次第です。日本は関東大震災、第二次大戦での被爆、空襲による廃墟から見事に復興してきました。今回も未曾有の被災をバネに、勝ち組の競争社会から、助け合いやコミュニティに裏付けられた創造的な社会ができていくことを願うばかりです。

おじやま虫 Q&A

ノロウイルス

Q ノロウイルスはどんなウイルスですか？

A その形状から、以前、小型球形ウイルスと呼ばれていたウイルスのひとつで、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛等の感染性胃腸炎の原因となります。多くの遺伝子型があり、実験室での人工増殖ができないため、感染経路の詳しい特定が非常に困難です。

Q どのように感染しますか？

A ほとんどは経口感染です。ノロウイルスが大量に含まれた糞便、嘔吐物から人の手を介しての感染や、人から人への飛沫直接感染、食品取扱者の感染を原因とした食品汚染、汚染された二枚貝類の摂取による感染などがあります。

Q 対策は？

A 加熱食品については、食品の中心温度八十五℃以上で一分間以上の加熱でウイルスの感染力はなくなります。また、調理前、食事前、トイレ後の石鹸を用いた十分な手洗いにより、ウイルスを手の表面からはがし落とすことができます。
Q 消毒薬はどんなものを使用すればいいですか？
A 塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)・塩素濃度200ppmによってウイルスを不活性化させることができます。アルコールや逆性石鹸は効果が低いと言われています。塩素系漂白剤は、金属腐食性がありますので、ドアノブや蛇口のゴックなどに漂白剤を噴霧した際には、きれいに拭き取ることが大切です。